



はるかなるサンディエゴ (2)

はるかなるサンディエゴ…へ行ったお話 (2)

初めてのアメリカ人旅の2日目を無念の動物園半日コースで無事(?) 終え、いよいよ今日はサンディエゴ・ズー・サファリパークに向かいます。サンディエゴ動物園はダウンタウンからも2、3キロメートルでしたが、こちらは市の中心部からは北へ約50キロメートルの山間にあります。バスなどを乗り継いで行けないこともないのですが、今日は息子と合流するため友達の車で迎えに来てもらい、一緒に行くことになりました。ハイウェイから見える広大な平原と彼方に広がる荒涼とした山肌(乾燥地帯なのか樹木は多くない)は、まさにアメリカ大陸を実感します。1時間足らずでサファリパークへ。



サファリパーク入園口

サファリもサンディエゴ動物園も同じ非営利団体によるサンディエゴ・ズー・グローバルの運営によるものです。きのうの動物園も大きいものでしたが、こちらは、もともとの地形を生かしているため、さらにその上に行く広大さ。なんと730ヘクタールもあります。比べても仕方ありませんが、かみね動物園の170倍。



大きな池を抜け



デッキを渡ると



広大なパノラマが…全部サファリ。

以前は、ワイルド・アニマルパークと言っていたようですが、まさにワイルド。ここは、アメリカでも絶滅が危惧されたカリフォルニア・コンドルの野生復帰に取り組んだことでも知られており、そのコンドルのほか、アフリカの草原のようなエリアなどに400種3000点以上の動物たちがのびやかに暮らしています。園内は色々な回り方がありますが、アフリカ・エリ

アをトラムといういわゆるロードトレインでまわり、あとは歩いて見て回る一般的なのをチョイスしました。



アフリカトラムで出発

トラムに乗るのも約30分ほどの待ち時間。何かディズニーランドのようでした。トラムが動き出し、いざアフリカへ。走って間もなくするといきなりチーターが木陰で休んでいました。チーターはチーター・ランというアトラクションがあるようで、専用のコートがありました。



木陰にチーターが…見えますか？

トラムが進むにつれ、キリンや水鳥、サイやレイヨウ類、そして頭上にはコンドルなどたくさんの動物たちが見えてきます。

見えてくるとはいっても、動物園とは違って目の前に、とはいきません。広大な風景の中に自然に溶け込んでいる感じでした。動物たちにとっては、捕食される心配もなく（チーターやライオンなどの肉食獣は隔てられている）、のびやかにまさに理想の環境なのではないでしょうか。実際、キリンはウガンダキリン（別名ロスチャイルドキリン）という絶滅に瀕している1亜種ですが、これまで115頭の出産に成功しているそうです。



水鳥たちの生息地



ウガンダキリン



牛？

約1時間弱のトラムの旅を終え、ここからは徒歩で園内をまわることに。ゾウの谷ではアフリカゾウの群れが2、3頭の子どものゾウを従え悠然と歩いていました。また、ゴリラの森のゴリラたちは、暑さのせいか岩陰に隠れており、あまり観察できませんでした。広い園内は、あちこちに案内サインや現在地表示はあるのですが、ともすると自分の居場所が分からなく

なる感覚になります。同様に、広さゆえ動物たちも先ほどのゴリラのように、居るはずなのに
に見えない、という状況もしばしば生まれます。実際、トラのゾーンではスマトラトラが
いるはずなのに、ブッシュなどに隠れてるのか、とうとう見えませんでした（見逃してたか
も）。しかし、前回も書いたように、見えなくてもそれは動物が見えない場所にいるだけの
ことで、逆に自然のあるがままを見せている、ということなのでしょう。
サファリだけにその傾向は動物園以上に顕著であったように感じました。



岩陰で休むゴリラたち



ゾウの親子

いずれにしても、たった2日と16時間の短い滞在でしたが、広くて大きなアメリカをズシン
と実感するとともに、非営利団体ながらもこれらの施設を運営していくために民間から多く
の寄付などにより成り立っている羨ましさや恐れ入りながら、ロサンゼルスでの乗り継ぎの
ため、とても小さな飛行機でサンディエゴ空港を後にしたのでした。



ロス行きの…飛行機だけは小さかった

参考

 [園内マップ1 \(画像形式 \(JPG\) : 4,216KB\)](#)

 [園内マップ2 \(画像形式 \(JPG\) : 3,135KB\)](#)

2012年9月17日

はるかなるサンディエゴ

はるかなるサンディエゴ…へ行ったお話

この夏、仕事でアメリカ・サンディエゴに滞在している息子に突然会いに行くことになりました。サンディエゴと言えば私たちにとっては動物園（しか思い浮かばない）。以前、姉妹都市のバーミングハム市の動物園から動物園水族館地域会議の招待を受け（このコラムでも平成20年3月に書きました）、アメリカ各地の園長から「いま一番充実してるのはサンディエゴだ」と言われていたので、機会があればぜひ、と求めていただけにこんな早く実現するとは思いませんでした。

成田からはアメリカ西海岸のどっかの空港から乗り換えなくてはならず、今回はちょっと遠いシアトルまで9時間飛んで乗り継ぎ（これってカナダ国境からメキシコ国境まで行くようなもんで結局一番遠い。）、そこから3時間弱でやっと到着。アメリカ西海岸最南部のはるかなるサンディエゴはまさに南国気分。



サンディエゴ国際空港前バス乗り場

空港からは2ドル25セントのダウンタウン行きのバスで10分ちょっと。動物園もダウンタウンから2キロメートルちょっとなので、歩いてOKな至極便利な場所にあります。ホテルに着いたのが夕方16時半ごろ。市内をブラブラしながら食事してホテルへ。明日朝9時の開園と同時に入ろうと23時過ぎにベッドに入りましたが、時差の関係からなかなか眠れません。ようやくウトウトしたのが朝5時ごろ。スヤスヤ…。突然ガバツと目が覚めると、オーナンテコッタ、時計は11時35分。ゆうべ、朝7時にタイマーセットしたはずなのに、スイッチがオンになっていなかったのです。オーマイガ、オーマイガと叫びながら急いで身支度をして動物園へ急ぎました。



市内バス・路線ごとに定額

動物園入り口は意外とこじんまりしていました。しかし、中へ入ってマップをみると「こりゃどうやって回るんじゃ」的広さ。どっからどう回っていいかわからないのでとりあえず全体を俯瞰する2階建て園内バスに乗ることに。約40分のバス旅を終え、いよいよ一人で回る

ことに。途中英語で（当然か）ガイドはあったもののチンプンカンプン。なので降りてみると結局マップ片手にやみくもに回ることになりました。



サンディエゴ動物園入り口



園内バスからフラミンゴ池

サンディエゴ動物園は43ヘクタールの敷地に展示数が約800種4000点。面積も動物数もちょうどかみね動物園の10倍。マップに記載された各園路の歩行に要する所要時間を単純に合計しただけでも約4時間弱。動物をそれぞれ観察しながらだと1日では回りきれない広さ。細かい展示内容をいちいち紹介できませんが、一言で言うなら、極力檻や柵の展示は控え、緑や擬岩（本物も）を豊富に取り入れた環境展示とでもいうのでしょうか。生息地環境の再現とまではいなくても、かなり自然の感じに近い展示手法となっていました（生息地環境の再現は、翌日行った姉妹園・サンディエゴ・ズー・サファリで遺憾なく発揮されていました）。



みどり豊富なゴリラ展示場



6頭のアジアゾウと1頭のアフリカゾウのすむ放飼場

また、うちや国内の動物園でも最近取り入れている観覧ドームや空中回廊などといった仕掛けはほとんど見られず、「どうだ見てくれ」のアメリカのおおらかさが。このため、一部の展示場では動物が見えづらい、などの難点もありましたが、動物が見えないのも展示法の一形態、と割り切ってしまうえばそんなものかな、と妙に納得させられました。それと、獣舎がそれぞれあるんでしょが、観覧ルートからはほとんど獣舎獣舎した建物が見えなかったこと。たぶん擬岩などの奥が獣舎になってるのでしょうか、うちも含め日本の動物園はいかにも建物が目立つ感じがします。これは、日本の動物園は雨でも観覧できるような構造をとる傾向にあるのに対し、サンディエゴは年間を通して極端に降水量が少ないことと関係しているのかもしれませんが。いずれにしても、わが国わが園との違いを色々感じながら翌日のズーサファリへ期待をつなぐのでした。



ネットも見やすいフサオマキザル

なお、今回、立つシカで有名なジェレヌクの立った姿と、ピグミーチンパンジー「ボノボ」を生で拝めたことに感動しました。このほか爬虫類館など、多分始めてみた動物たちがたくさんいたような気がしますが、朝の遅刻のため嵐のように過ぎ去った慌ただしい時差ぼけの一日の中で、すでに記憶から遠ざかっているのです。 (次回続く…かも)



アフリカのシカ・ジェレヌクの凛々しい立ち姿



日本では見られないボノボ

参考

 [園内マップ \(1\) \(画像形式 \(JPG\) : 3,182KB\)](#)

 [園内マップ \(2\) \(画像形式 \(JPG\) : 3,159KB\)](#)

2012年9月10日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)